



技術者・研究者のための
実務に活かせる「原価計算&コスト試算」ノウハウ

Sample
1

通信講座テキスト V210502 (原価計算)

2021年5月24日開講

－第1講－

事前コスト検討に必要な原価計算の基礎知識
～ まずは基礎から編 ～



サイエンス & テクノロジー

研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍



非売品

技術者・研究者のための
実務に活かせる「原価計算&コスト試算」ノウハウ

■ 指導講師 ■

小川 正樹 氏

株式会社MEマネジメントサービス
代表取締役



サイエンス & テクノロジー

研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍



第1講 目次

「事前コスト検討に必要な原価計算の基礎知識」～基礎・入門編～

1. 研究者・技術者に必要な原価計算の基礎知識.....	1
1.1 原価のしくみと原価を整理する.....	1
1.1.1 原価とは.....	1
1.1.2 材料費・労務費・製造経費とは何か.....	2
1.1.3 原価を使われた目的で分類する.....	3
1.1.4 製造原価の構成比率は変化している.....	4
1.1.5 原価の構成比率は業種別で違いが大きい.....	5
1.1.6 直接費・間接費とは何か.....	6
1.1.7 変動費・固定費とは何か.....	9
■練習問題(提出不要).....	12
1.2 IoT, 製品多様化時代の原価計算.....	13
1.2.1 SCM(Supply Chain Management)からVCM(Value Chain Management)へ.....	13
1.2.2 IoTはコンポーネントのネットワークを基盤に構成される.....	14
1.2.3 IoT, 製品多様化に向かっのての見積原価計算と技術情報.....	15
1.2.4 事前コストの算定基準.....	17
1.3 事前コスト検討に必要な原価計算.....	18
1.3.1 見積原価計算はどのようにやるのか.....	18
1.3.2 詳細見積のやり方.....	22
第1講のまとめ.....	23

第1講 演習問題

練習問題(提出不要) 模範解答

第1講 「事前コスト検討に必要な原価計算の基礎知識」～基礎・入門編～

1. 研究者・技術者に必要な原価計算の基礎知識

1.1 原価のしくみと原価を整理する

1.1.1 原価とは

会社の経営活動の中で、原料や材料を仕入れて、それを製品に加工するまでの一連の「生産活動」の過程で発生した原価を製造原価という。

次に、生産活動において作った製品を販売していくという活動がある。これは「営業活動」と捉えることにする。この過程で発生した原価は、販売費・一般管理費という形にくくられ、原価計算上では営業費と呼ばれる。

このように、会社で発生する原価は、製造原価と販売費・一般管理費(営業費)の2つに大きく分けることができる。

なかでも製造原価は、会社の原価の基本となるものであり、原価計算とは製造原価を集計するものともいえる。

さらに、製造原価はその内容によって「材料費」「労務費」「製造経費」の3つに分けることができる。この方法は、発生形態で原価を分けるので、形態別分類という。また、この3つは原価を構成する基本要素であり、原価の3要素と呼ばれている。

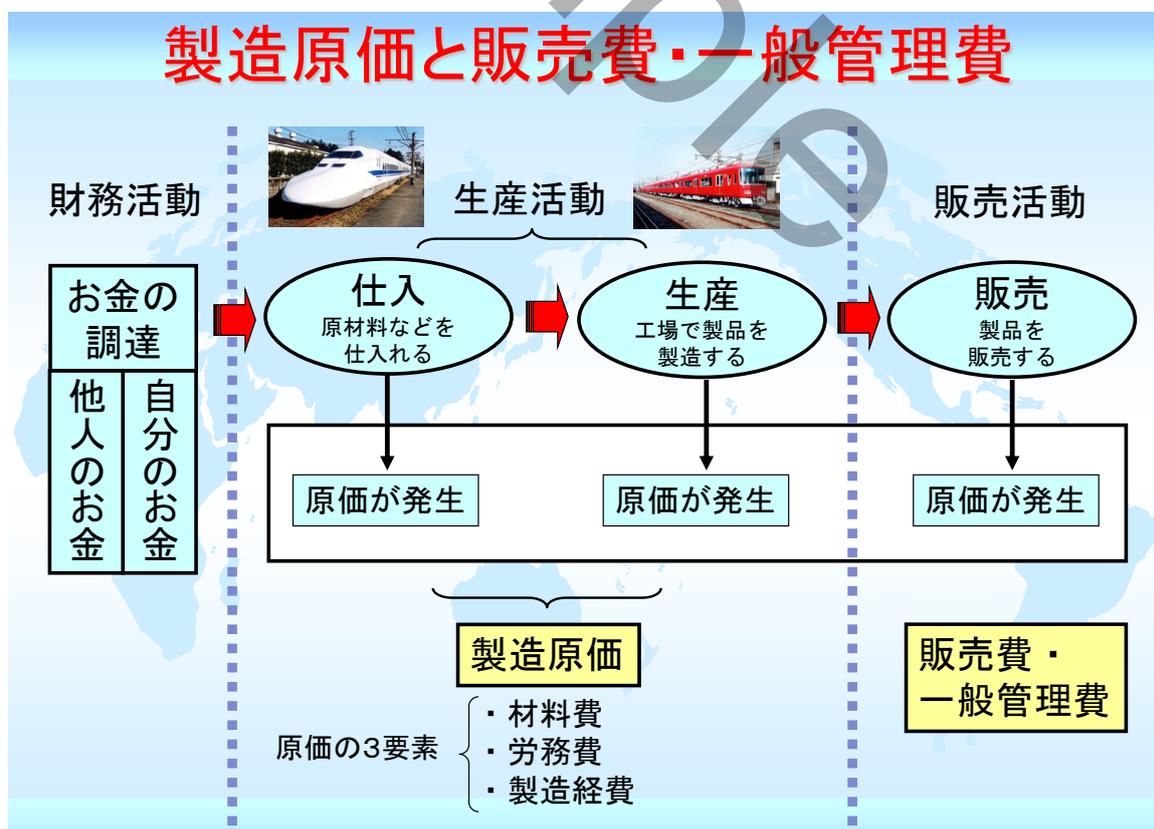


図1

1.1.2 材料費・労務費・製造経費とは何か

形態別分類では、発生したお金を、材料費、労務費および製造経費の3つに分ける。

- ①材料費……原料や材料を使うことによって発生する原価である。製品に付いていくものは代表的な材料費である。
- ②労務費……労働力を使うことにより発生する原価である。工場で働いている人の給料や賞与などが含まれる。
- ③製造経費…材料費と労務費以外を使うことによって発生する原価なので、さまざまなお金が含まれる。

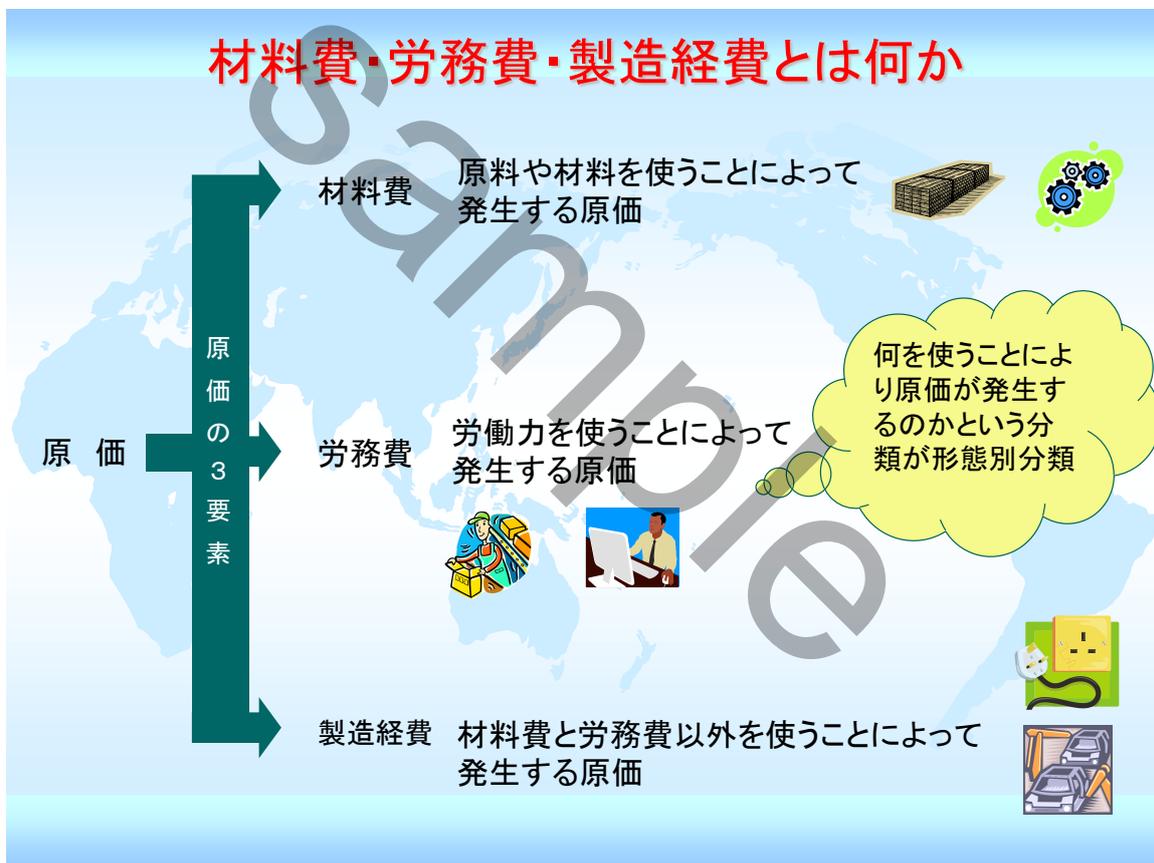


図2